

令和2年度事業計画

1 はじめに

人生100年時代の超高齢化社会の中、生涯現役として高齢者が安心して働き続けられる環境を整備するため、国のシルバー関係予算は昨年度より増額されました。

当センターの令和元年度事業実績は、前年度対比で順調に推移している一方、人手不足により入会者が増えない中、職群によってはマッチングができないケースも出ており、「自主・自立・共働・共助」の基本理念のもと会員一人ひとりが入会促進に取組み、地域の要望に添えて参ります。

また、今年度は第3次中期計画の3年目に当たり、数値目標達成に向けて着実に推進するとともに3月23日に移転した新事務所においてシルバー事業をより一層推進します。

なお、10月には設立40周年を迎えることから記念事業の実施にも取り組みます。

2 基本方針

- 1 第3次中期計画の推進
- 2 新事務所での事業推進
- 3 入会の促進
- 4 就業機会の確保と普及啓発事業の推進
- 5 会員参加の活動推進
- 6 安全就業の推進
- 7 適正就業の推進
- 8 高齢者活用・現役世代サポート事業の推進
- 9 各種事業の推進
- 10 受注業務の迅速化
- 11 里山健康学校せせらぎの郷の運営
- 12 設立40周年記念事業の実施

3 事業計画

1 第3次中期計画の推進

センター事業の拡充・発展を図る為、平成30年度から令和4年度までの5年間の計画を着実に実施します。

[令和2年度末数値目標]

会員数	1,120人
就業率	83パーセント
契約高	4億6千万円

[令和4年度末数値目標]

会員数	1,200人
就業率	85パーセント
契約高	4億8千万円

2 新事務所での事業推進

センターの事務所を3月23日、小松市軽海町ノ25番地1へ移転しました。心新たに市民にとってなくてはならないセンターづくりを目指します。

3 入会の促進

- ① 原則毎月第2・4水曜日、センターにおいて入会説明会を開催する。
- ② 県連合会主催の講習会を活用し入会を勧める。
- ③ ホームページの仮会員登録により入会を促進する。
- ④ ハローワークと連携し出張相談を実施する。
- ⑤ 就業先で入会を促進します。

4 就業機会の確保と普及啓発事業の推進

(ア) 就業機会の確保

- ① 会員一人ひとりが「困ったことがあったらまずシルバーへ」の合言葉により仕事の開拓に当たる。
- ② 就業を通じて口コミで仕事の開拓に当たる。
- ③ 会員・就業開拓部会員による企業訪問により就業機会の確保に努める。
- ④ お客様満足度調査によりお客様の思いを取り入れ継続発注いただけるように努める。
- ⑤ ホームページにより仕事の依頼を受ける。

(イ) 普及啓発事業の推進

- ① 市広報やマスコミへ情報の提供を行なう。
- ② 各種イベントに参加しセンター事業を普及する。
- ③ 「生きがい」を年2回全世帯へ配布する。
- ④ ホームページ等を活用しセンター事業をPRする。
- ⑤ 県連合会主催の講習会を活用しシルバー事業を啓発する。
- ⑥ シルバー啓発標語を募集し活用する。

5 会員参加の活動推進

(1) 地域班活動

- ① 地区毎に地区委員と地域班長が連携し、会員同士の交流と親睦を図るとともに、入会の促進と仕事の開拓に当たる。
- ② 清掃奉仕作業を実施する。
- ③ 地区委員により、会員の意見や要望などを理事会に反映させる。

(2) 職群班活動

- ① 職群毎に安全就業について意見交換し安全意識を高める。
- ② お客様満足度調査によりお客様の満足度を高めリピーターを増やす。

(3) 専門部会活動

- ① 理事と会員による4つの専門部会においてそれぞれの課題に取り組む。
- ② 部会毎の課題などを理事会に反映する。

(4) 女性委員会活動の推進

女性会員の入会を促進するため交流の場を提供する。

6 安全就業の推進

- ① 会員同士が互いに声掛けし、安全意識の高揚を図る。
- ② 安全管理委員による安全パトロールを実施する。
- ③ 安全保護具の着用と原則複数人就業を推進する。
- ④ 事故検証委員会により現場に出向き、事故原因を分析するとともに事故情報を速やかに会員に提供し再発防止を図る。
- ⑤ 職群毎の安全就業基準を徹底する。
- ⑥ 安全就業標語を募集し活用する。
- ⑦ 県連合主催の安全就業対策協議会に参加し事故防止に努める。

7 適正就業の推進

- ① ローテーション就業を推進し、多くの会員が就業出来るよう工夫する。
- ② 県連合会と連携し、労働者派遣事業及び職業紹介事業を推進する。
- ③ 就業相談会を実施し、情報提供等により就業に努めるとともに就業満足度を高める。

8 高齢者活用・現役世代サポート事業の実施 人出不足分野に会員を派遣する。

9 各種事業の推進

(1) スマイルシニア農園の推進

- ① 売れる野菜を栽培する。
- ② 野菜を加工する。
- ③ 道の駅や空の駅等で販売する。

(2) ビュッフェ・こまつせせらぎの運営

- ① 健康料理を提供しリピーターを増やす。
- ② ホームページやマスコミ等でPRに努める。
- ③ 繁忙期や土、日、祝日の会員の確保に努める。

(3) その他の事業の推進

- ① 里っ子教室を実施する。
- ② しめ飾り事業を実施する。
- ③ 包丁研ぎを実施する。
- ④ 手作り品を道の駅等で販売する。
- ⑤ 新たな独自事業を検討する。

(4) 賛助会員制度の推進

センター事業への理解と協力を求め、賛助会員を募る。

10 受注体制の確立

発注者に対し、会員より就業予定日等を適宜周知しお客様の安心感を高める。

11 里山健康学校せせらぎの郷を指定管理者制度で運営

里山健康学校せせらぎの郷を効率的に運営する。

12 設立40周年記念事業の実施

昭和55年10月に設立された当センターも今年10月には設立40周年を迎えます。これまでの感謝と今後の更なる発展をめざし、実行委員会により記念事業を検討し実施する。

4 総会・理事会等の開催

- (1) 総会の開催
- (2) 理事会の開催
- (3) 専門部会の開催
- (4) 安全管理委員会及び地域班、職群班会議の開催

5 関係行政機関等との連携

- (1) 石川県商工労働部・石川労働局及び小松市予防先進部と連携する。
- (2) 北シ協及び県連合会と連携する。
- (3) 各シルバー人材センターと相互協力する。
- (4) ハローワーク及び各種団体と連携する。